

これから気を付けていきたいです。

二つ目は、車に乗るときはシートベルトをしっかり着用することです。もし、事故にそのつうしてしまつたときには、そのシートベルト一本で、大切な命が助かるかもしれないからです。祖母は、車に乗るときにはいつも、私たちに、「シートベルト！」と一言声をかけてくれます。その位、シートベルトはとても大切なものなので、いつでもどこでも必ず着用するようにこれからも意識していきたいです。

三つ目は、横断歩道の渡り方についてです。私は幼稚園の頃、反対の方向に友達がいって、軽い気持ちで道路を飛び出したら、車が来て危なく事故にあつたところでした。こんな経験をしたことがあるので、今ではどんなに急いでいても、左右を確認し、車が来ないかしっかりと見るということを意識しています。また、車がたたくさん通る道路でも、信号機がない所もあります。そこで、もっと意識を高めて、事故にあわないように気を付けていきたいです。また、信号機のある道路では、大半十字路の場合が多いと思えます。「信号機があるから安心」と思わずに、車が来ないことを確認した上で、横断歩道を渡り、安全に気を配っていききたいと思ひます。

四つ目は、暗くなつたら、一人で出歩かないということです。藤中生は、午後五時半から六時まで、家に帰らないといけないというルールがあります。中学校によって時間は異なりますが、大半は

この時間帯でしょう。暗くなると、昏間より事故による危険性は増してきます。

事故の危険性を減らすには、「夜はあまり出歩かない」ことや、「反射材をつける」ということが適していると思ひます。反射材は夜、暗いときに明るく光り、運転手にもその場の状況を知らせることができるので、事故防止に役立っています。

藤里町死亡事故「ゼロ」の記録をこれからも守っていくためには、これまで挙げてきた、一つ目の「自転車の乗り方」や二つ目の「車に乗るときはシートベルトの着用」、三つ目の「横断歩道の渡り方」や四つ目の「暗くなつたら一人で出歩かない」といった、ごくごくあたりまえのことが必要だと思ひます。他にも、もっと気を付けたいといけないことがたくさんあると思ひますが、私が一番気を付けたいことは、この四つです。最近のニュースでは、交通事故がたたくさん見られます。私はニュースを見ると「かわいそうだな」と思ひます。私たちの地域では、絶対に交通事故を起したくないし、起こされたくないのので、普段の交通ルールをしっかりと守ってきたいと心から強く思ひました。

藤里町は、交通死亡事故のない日が、5,800日以上続いています。この結果は、今まで藤里町の地域の人たちが交通ルールを守り、すばらしい町を保ち続けてきた結果なので、とてもすごいことだと思ひます。私はこのすばらしい藤里町の環境で育つた一人なのだなと思ひ、心の底からとても嬉しくなります。

これからも、この結果を守り続けていきたいと思ひます。死亡事故の一つもないすばらしい環境の藤里町が、私はとても大好きです。

『思ひがけない』交通事故のこわさ



佐藤 瑛太さん

僕は、7月の校外学習で伝統芸能を調べることにした。公民館で話を聞き、自転車でみんなと神社へ行くことにした。交差点の前で降りて自転車を止めようとしたら、

「つおっー！」
バランスを崩して僕と自転車とが転んだ。自転車のギアがおかしくなつて、赤い反射材がとれてしまつた。走っているときに転ぶのは分かるが、これからは転ばないようにしん重に止まる。体育館でインタビュをした後、学校にもどる。しかし、またあの交差点で今度は同級生の女の子の首にハンドルがあたりてしまつた。

「ごめん、痛くなかつた?」「大丈夫、大丈夫。」

とすく許してくれた。不幸中の幸いで、けがはなかつたものの当てる場所が違つ

ていたらけがをさせてしまつたところだつた。これも交通事故。

毎朝の通学は親に送ってもらつた。道中の看板に書かれているのは、藤里町交通事故死者ゼロという記録だ。現在もこの記録を更新中だ。約15年以上も死亡事故が起きていない。このことは住民たちが、日々交通安全に気を付けているからだと思ひます。

しかし、最近あちこちで、大規模な道路工事が行われている。大雨で土砂崩れが起きて、いつもの道が通行止めになつたこともある。その時は道幅が狭い道路を一週間バスで登校した。朝の時間帯は通勤通学をする人の車でいっぱい、みんなあせつていている。急いでいる。道が狭く見通しが悪いのに、時間がなく急いでいて、ついスピードを出してしまう人もいる。それが原因で事故につながるおそれもある。僕もバスから見えていて本当に危険だと感じたことが何回もあった。

今年も秋田県をはじめ、あちこちで熊の出没が続いている。高速道路での車と熊との衝突のニュースも何度も入っている。実際に去年、僕の父が兄の野球大会へ向かうため、秋田北インター近くを走行中、黒い大きな物体が父の車に衝突した。つおっー熊だ。

「つおっー熊だ。」
すごい衝撃で、熊は一瞬倒れたが、またすく立ち上がり、山の方へ走り去つたと父は話していた。高速道路を出た後、降りて車の状態を確認したら、前のバンパーがへこんでしまつていた。シート